広がれ！子ども食堂の輪 in ひょうご

地域とつながる子ども食堂

9/2土 13:00～17:00

受付開始12:30

定員 90名（先着順）／**参加費 500円**

お申し込みは裏面へ！

子ども食堂が各地に広がっています。この取組が、しっかりと地域に根付いて、子どもたちに継続して届けられるために必要なことは何でしょうか。カギになるのは、地域の人・団体や学校等との連携です。
そこで、このフォーラムでは、連携するときのポイントなど、「子ども食堂と地域のつながり方」について、実践者のゲスト、参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

対象者

- 子ども食堂に関心がある方
- 子ども・子育て支援や地域活動に取り組んでいる個人、団体、行政・学校関係者など
- 子ども食堂の運営者・開設したい方

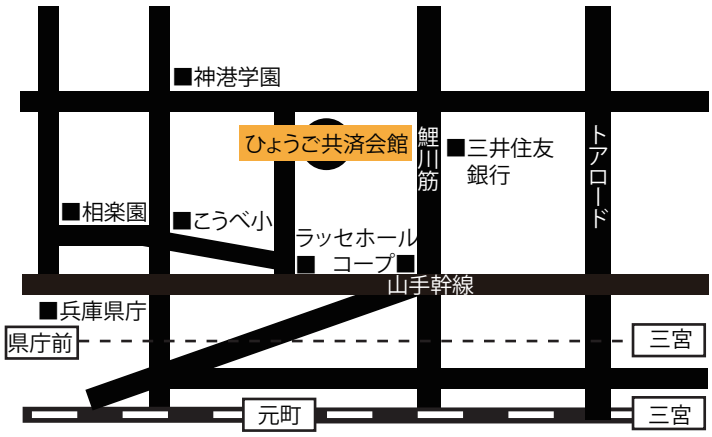
プログラム

- イントロダクション（湯浅　誠さん）
- 事例発表
  そのっこタやけ食堂（尼崎市）
  朝ごはんやさん（大阪市）
- 参加者同士の意見交換

会場

ひょうご共済会館ツツジ（神戸市中央区中山手通4-17-13）

- JR・阪神「元町駅」下車徒歩10分
- 市営地下鉄山手線「県庁前駅」下車徒歩5分



［主催］　ひょうご子どもカフェ
［共催］「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアー実行委員会
兵庫自治学会（事務局：（公財）ひょうご震災記念 21 世紀研究機構）
［後援］　兵庫県、神戸市

イントロダクション

湯浅　誠（ゆあさ　まこと）社会活動家・法政大学教授

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など、政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。現在、法政大学現代福祉学部教授の他、テレビ、ラジオなど多数出演。著書に『ヒーローを待っていても世界は変わらない』など。

事例発表

そのっこ夕やけ食堂（尼崎市）

「園田地区子育て支援連絡会」が平成28年4月に尼崎市園田地区に開設。保護者の帰宅が遅く、一人ぼっちでごはんを食べている子や、ごはんの用意がない子どもたちが、地域に住む大人や高齢者とともに過ごせる居場所づくりを目指している。地域の大人は「地域のつながりのための食堂」ということを意識して参加し、「自分たちにも何かできることを」と活動のお手伝いや、寄付をしてくれている。

朝ごはんやさん（大阪市東淀川区）

平成28年11月に開設。公立小学校の家庭科室で、地元のボランティアの方が週3回、朝7時半から朝ごはんを提供。毎回、30人前後の児童が利用しており、アンケートでは、6割を超える利用者が「学校に行くのが楽しくなった」、「朝早く起きるようになった」と回答。

主催者「ひょうご子どもカフェ」について

こどもの貧困に関心を持つ行政職員、社協職員、NPO等の団体職員、弁護士等による情報交換・連携のネットワーク（任意グループ）として2015年6月に設立。2～3ヶ月に1回程度、定例会を開催。

お申し込み・お問い合わせ

お申し込み期限 **8/30**

E-mail **tour2017@123kobe.com**　Fax **078-735-0164**　Tel **078-735-0163**

NPO法人しゃらく 担当小嶋までお願いします。

フリガナ 氏名		所属 ご所属があれば	
住所	〒	E-mail Tel	
子ども食堂の運営経験		ご質問・ご意見	
あり（＿＿＿＿年＿＿月ごろから）　・　なし			